

1 市の概要

人口	398,360人
保護率	2.2%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件) 一月当たり	16.1
プラン作成件数人口10万人当たり(件) 一月当たり	3.7
就労支援対象者数人口10万人当たり(件) 一月当たり	1.8
就労・増収率(%)	69.0

3 実施方法について

実施方法	委託（委託先：NPO法人 ワークスコープ）（単年度、プロポーザル方式）
事業費	2,536千円（平成30年度）
理由（委託）	○利用者に不登校や発達特性の子どもの利用が多く、その子ども達への対応は高い専門性が求められるためプロポーザル方式により委託先を選定。 ○委託先は、定時制や通信制高校、特別支援教育、教育相談などの経験者（教員OB）を配置。 ○全国でも多数の受託実績があり、法人自体にノウハウが蓄積されている。
事業概要	○学習支援員4名と学習支援ボランティアを複数名配置。 ○市役所近くの民間ビル一室を賃借し、週3日（火・木：14時～19時、土：9時～12時）の拠点型で実施している。 ○対象者は生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の中学生、高校生、無就学・無就労の子ども。 ○平日の昼間は不登校の中学生や通信制の高校生の利用が多く、平日の夜や土曜日については学習メインの中学生が通所し、学習支援と居場所を提供。 ○利用者の約6割が不登校（経験者も含む）であり、そのような子ども達が不登校状態を解消し、将来に向け自ら一歩を踏み出せるよう教育委員会や学校等と連携しながら支援を実施。
その他特記事項	○利用者の所属する学校（適応指導教室も含む）を学習支援員と福祉事務所担当者が適宜訪問し、利用者の事業の利用状況などを共有し、学校復帰に向けて連携して対応。

4 事業実績（H30年度）

実利用者数	中学生	高校生	その他	計
生活困窮	9人	9人	0人	18人
生活保護	18人	12人	4人	34人

※中学3年生のうち高校へ進学した者・・・16名/17名

※高校卒業者3名（専門学校進学1名、就職2名）

5 事業実施のポイント ～安心できる居場所の提供～

月に1回、イベント（調理実習、クリスマス会、遠足等）を実施

- 通常の学習支援では、支援者（大人）との交流はあるが、子ども同士の繋がりがなかなか広がらなかったため、月に1回、社会見学や交流会を実施。
- このイベントをきっかけに利用者同士の交流が出来、子ども達にとっては安心できる居場所となっている。
- また、イベントはグループワークも多いので、グループワークを通して子ども同士が譲り合ったり、協力したりする場面もあり、本人の長所や課題も見えてくる。
- 不登校傾向の子どもが多いので、学校等にこの事業を通じて把握出来た本人の状況を報告し、学校復帰に向けた対応策を検討している。



6 取り組んで良かったこと

- 学校に通えていない子ども達が、この事業には通えるようになり、自分のペースで学習を進めることができ、前向きになれた。
- 経済的事情に関わらず、子ども達に学習機会を提供できる。